

第12回（平成25年10月）「工学部学友会」理事会の記録

- (1) 日時：平成25年10月20日（日）14:00～17:10
- (2) 場所：ザ・草津タワー 会議室
- (3) 出席者：立入会長、国領・林(正)副会長、奥村顧問、安田特別理事、藤田・山添・谷川
松下・長谷・若林・平野・藤浪各理事、(敬称略)
- (4) 議事内容（議長；立入会長）
- 配布資料：「工学部学友会」第2回総会準備打合せの記録（10/4）
第2回「工学部学友会」総会収支試算
「工学部学友会」第2回総会準備日程 他
第2回総会案内チラシ草案
名簿管理チーム打合せ記録（9/25）
県大jiman 第13号013
湖風会館落成式出席者名簿（学友会関連） 他
介助ロボット「愛移乗くん」紹介記事
京都次世代ものづくり産業雇用創設P/J紹介記事

1、立入会長の挨拶（要旨）

日曜日でお忙しい所、お集まり頂きありがとうございます。

16日に台風26号が来ましたが、皆さんのところで被害はなかったでしょうか？滋賀県湖南地区は土砂崩れでひどかったです。私の記憶では伊勢湾台風に次いで大きな台風という感じです。お蔭様で学友会の事業も来月で丸2年になりますが、ここまで滞りなく活動を推進することが出来ました。皆様のご協力に感謝いたします。

資料をお配りしましたが、一つは滋賀銀行の広報誌に安田教授が開発された介助ロボットの紹介記事が出ていましたのでお読みください。

もう一つは、京都次世代ものづくり産業雇用創出PJの紹介と、京都の中小企業のものづくりを後押しする「大学連携試作技術開発拠点」を作る日経新聞の記事です。

京都府が試作品の一括受注を手掛ける京都試作センター（吉田理事が特任部長として在籍）を通じてコーディネーターを派遣する事業を展開しようとしている。吉田理事も大変忙しく活躍しておられるとのこと。

それでは議題に沿って宜しくご審議をお願い致します。

<討議事項>

2、第2回「工学部学友会」総会の計画骨子について

配布資料に基づき、10/4 三役+事務局で纏めた総会の計画骨子の説明を行い、理事会の承認を得た。今後この骨子に沿って細部の詰めを行う。

① 計画骨子の要点

a) 第2回総会のテーマについて

10/4 打合せに出た意見を含め、役員各位の意見を聞きながら決めていく。

b) 総会の案内対象について

1) 学科・学年幹事 97名→クラス員に展開。

2) 教職員会員 登録者 48名。総会案内までに届け出された方も含む。

3) 学生会員。

- 4) 招待者は学長、工学部長、湖風会会長の3名とする。
- c) 会費は、7,000円、学生会員は3,000円とする。
冊子への協賛広告と寄付を合せ300,000円集めることを目標とする。極力協賛広告を増やし、寄付の依存度を低くする努力をする。
- d) 冊子は250部製作する。極力費用を抑える方策を考える。
- e) 準備大日程については、学年幹事/教職員会員への案内状の発送をH26年2月18日、出席者の確定を4月末と目標設定し準備作業を進める。
次回理事会(12/8)に第2回総会準備日程に担当/日程(案)を書き込み提案し、討議する。
(担当;藤浪)
- f) 出席者が110名(総会場 共通講義棟 A-7教室の収容人数)を超えた場合のバックアップとして、200名収容の教室を確保しておき、出席者確定後総会場所を決定する。
- ② 案内チラシの草案について
平野理事に作成頂いたチラシの草案について意見を聞いた。
- a) 草案はイメージとし、時間等記載事項については、今後詳細を詰めた後確定する。
- b) 同好会、クラス会、会社訪問の写真については、あくまで各活動の一例であることが表現できるよう工夫する。

3、「工学部学友会」の事業内容(活動方針)について

① 会員と湖風会及び県大工学部との連携について…<連携推進チーム>松下リナ

a) 湖風会関連報告

- 1) 平成27年度に県大開学20周年、県立短大開学65周年、湖風会創立10周年を迎えるが記念行事の共催を県大から湖風会に要請されている。
これに絡めて同窓会会員名簿の発行が検討されている。全会員への掲載可否の確認や費用の問題があり、検討中である。
- 2) 11/10開催予定の湖風会館落成式の出席者が予想を超えて約160名となる。
内学友会関連は52名(機械/化学は約半々)。
- 3) 湖風会誌4号が12月初旬に発送予定である。B版→A4版に変更。
- 4) 湖風会館に同窓会活動の歴史を残す展示をしようとしているが、彦機会～学友会の総会の冊子/DVDをファイリングして事務所に置いてあります。皆さんで該当資料をお持ちならファイルをお願いします。

② 同好会活動について・・・各世話役

a) フォト同好会・・・山添世話役

既に10/19に案内がされているが、開催日を変更して下記要領で開催する。奮ってご参加下さい。

- 1) 開催日時;11月25日(月)AM10:00~15:00頃、雨天決行
集合場所;JR京都駅中央改札口を入った0番ホーム AM10:00集合
- 2) 行き先(概要);東福寺(通天橋及び方丈庭園で紅葉撮影)及び祇園四条の
「ぎやらりい西利」(「フォト禅」の写真展を鑑賞)
昼食は東福寺境内の「栗棘庵」で紅葉弁当
- 3) 会費:各自実費支払い 約4,500円

b) ゴルフ同好会・・・立入世話役

12月1日(日) オレンジシガCCで第15回コンペの開催を予定し、スタート9時30分で予約している。

c) テニスの集い・・・林世話役

10月26日(土)~27日(日)に県大テニスコートで開催を予定している。

10/26 13:00 県大テニスコートに集合、16:00頃までテニス、18:30からキャバル

で懇親会、宿泊。

10/27 佐和山城址近辺散策、昼食後散会の予定。

テニス参加者 35 名（内学生 20 名）、懇親会参加者は 39 名（内学生 19 名）、杉本夫妻が参加の予定、残念ながら田頭顧問は体調不良のため不参加。

d) カラオケ愛好会・・・(内片世話役欠席)

12月8日(日)のパナソニックリゾート大阪での理事会に併せて開催する予定である。

③ 名簿管理について・・・<名簿管理チーム>国領リダ

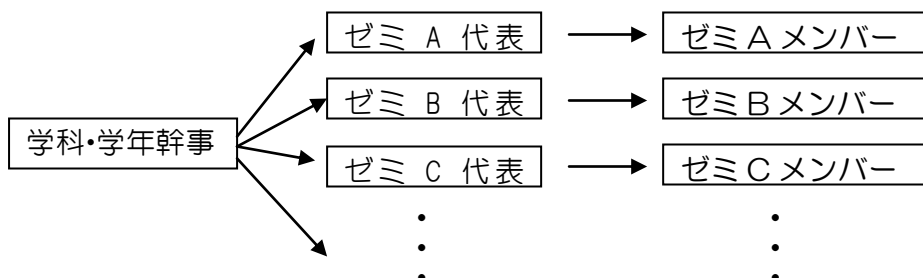
学友会では事業活動を軌道に乗せることと体制作りを目標に活動してきましたが、名簿管理チームではその体制作りを担ってきました。2年間の中でアンケート調査の実施や、化学卒の学科・学年幹事の拡充を図ってきた。この後、どのような活動を続けていくか 9/25 打合せを行った。

a) 短大化学科の学年幹事の補充について

現在までにほぼ各学年の学年幹事の選任を終えているが、一部の学年で辞退された方がおられる。来年の総会に向けて極力代替者で補充を行う。

b) 県大の学科・学年幹事について

現状県大卒の学年幹事は 10 名に留まっている。一つは“学年”というより“ゼミ”がグループの単位であるという意識が強いこともある。幹事のあり方を考える必要がある。安田教授から、材料科学科の同窓会担当の方とも話してみたが、一案として、各ゼミの代表者を決め、そのゼミ代表者を取りまとめる幹事を設定したらという意見が出された。検討する。



c) 教職員会員の方への情報伝達（総会の案内）は、e-mail をその手段とする。

④ 「工学部学友会」HPについて・・・<HP維持チーム>山添リダ

a) 掲示板の再開について

8月16日再開したがその後迷惑投稿はきていない。

掲示板に添付する画像は横 300pix、縦 300pix を超えると縮小表示される。が、添付時はもう少し大きなサイズがよい。

⑤ 県大工学部の活動支援について・・・<活動支援チーム>立入リダ

a) 片岡製作所について

10/8 立入会長が県大廣川工学部長、安田教授と訪問された。

来年度の会社訪問（県大生）を了解頂いた。工学部支援会への加入もメリット等を説明しお願いしたが、当日 結論は出ず。また、就職採用もお願いした。

（片岡製作所は、同社の HP <http://www.kataoka-ss.co.jp/> 参照ください）

b) ニプロについて

10/8 立入会長訪問、管理部長及び谷川理事のご子息昌洋氏と面談。

支援会への加入については、大学の研究シーズを確認しないと…ということで、支援会の現状等を説明した。

採用関連は大阪本社的人事総務部が扱っている。採用は国公立の院卒がほとんどで、県大卒はなし。優秀な院生がいれば、大阪本社に照会してくださいとのことであった。

c) 京都ビジネス交流会 2014 が、H26 年 2 月 20 日～21 日にパルスプラザで開催される。昨年と同様に県大工学部の大学連携ブースへの出展が決定した。

d) 県大生の就職状況について

昨年度は院・学部とも 100%就職できた。留年していた学生で 2 名決まっていなかった方がいる。今年度は院生が 1 名未決定、学部は現役で技術系への就職希望者は 100%決定。アパレル関連への就職を希望している学生がいるが、大学としてのサポートは難しい。留年している学生は 3 名が決まっていない。



次回、第 13 回理事会開催予定

日 時；平成 25 年 12 月 8 (日) 10:00～

場 所；パナソニックリゾート大阪 会議室 他

議 題；第 2 回総会について 他

尚、当日理事会後、忘年懇親会およびカラオケ愛好会を行います。

別途ご案内致します。

以上。